

地域で支えあう子育てサポート みとよファミリー・サポートセンター



8/22 会員の交流会が行われました

会員相互の交流会が豊中町福祉会館で行われました。会員や一般の親子33組が参加し、活動報告・利用者の事例報告・ファミサポの仕組み等について会員同士で話し合い、より利用しやすくするためのさまざまな意見を出し合いました。

利用者の声

おねがい会員/30代女性

私には5歳・3歳・9カ月の子どもがいます。マッチングの時に初めてまかせて会員の家に連れて行ったのですがたくさん玩具も準備してくれてすぐにその家の雰囲気になじめました。

毎日3人の子どもを家で見ていたらイライラすることばかりですが、その話も聞いてくれ良き相談相手としても私は利用してとても良かったです。

おねがい会員/30代女性

私は看護師の仕事をしています。仕事で夜遅くなることも多くタクシーでの送迎を利用してきました。今ではファミサポで紹介してくれたまかせて会員が食が細い我が子のために夕食に好むものを作ってくれたりお孫さんと姉妹のようにお風呂に入れることがすごく楽しいようです。

一度は仕事を辞めようとも思いましたがファミサポに相談して良かったです。まかせて会員、そのご家族みんなが私たち親子を迎えてくれていることに感謝しています。

まかせて会員/60代女性

活動を初めて1年4カ月。学童と保育所に迎えに行き、その後両親が仕事から帰ってくるまで預かっています。子どもの笑顔を見るとその日の疲れも忘れるくらい楽しくなります。子どもには1人ずつ年齢に合った関わり方をし、両親に対してもその日あった出来事を十分に話し安心感を持ってもらえるよう心がけています。仕事とはいえ、親戚でもないまかせて会員に預けるのは大変な覚悟だと思えます。感謝の言葉に甘んじることなく今後もしっかりと子どもたちを見守っていきたいと思います。

講師の話

「子育ては迷惑なことですか？」講師：中橋恵美子氏（NPO法人わははネット理事長）



電車や公共の場で泣いていたら非常に迷惑な顔をされることってありますよね。それは「泣く」のが騒音だと思うからです。泣く＝迷惑とネガティブに子育てをとらえるからこそ世間は少子化なんです。預かる側も「元気がいいね。生まれてきてくれてありがとう」という気持ちで預かってもらいたい。預けて良かった、預か

って良かったという関係、そして笑顔に触れ合える活動こそがファミサポなんだと思います。

ファミサポ利用券の支給は全国を見ても非常に少ないです。子育てしやすい環境づくりということで三豊市のファミサポは非常に進んでいる、努力されているなと感じます。この事業をまずは軌道にのせ、地域間での支え合いの仕組みを皆さんが主役として雰囲気づくり、まちづくりをしてもらいたいと思います。

情報交換

問 迷惑をかけるかも。

答 心配しないで。子どもはすぐになじみます。

問 料金が高い。

答 大切な子どもを預けるのです。いろいろな支援をうまく利用しては。

問 市が振り込みしてほしい。

答 支え合いの事業ですから、当事者間での支払いが原則です。

問 事故が不安。

答 ファミサポが保険に加入していますが、未然に防ぐ工夫をしましょう。

問 緊急時や病後の子どもも頼みたい。

答 まだ技能・技術を養成していません。今後の検討課題です。

問 まかせて会員をたくさん紹介して。

答 子どもと、まかせて会員の良い関係が前提です。

里親（ドレミファミリー）になりませんか！

家庭のさまざまな事情で保護者と一緒に暮らせない子どもを自分の家庭に迎え入れ、保護者にかわって健やかに養育して下さる里親を求めています。（ドレミファミリーは、香川県での養育里親の愛称です）

ファミリー募集

県では、児童福祉施設に入所している児童に、週末などの短期間に家庭生活を体験してもらう「週末ホームステイ事業」を実施しています。その家庭（ファミリー）も募集しています。

▶ 問い合わせ

県子ども女性相談センター 087・862・8861
西部子ども相談センター 0877・24・3173

子どもと家庭の電話相談をご存じですか？

子どもに関する悩み、心配ごとの電話相談室です。例えば、しついで困っている。友達ができにくい。学校へ行きたがらない・・・その他、子どものことなら何でもご相談ください。ひとりで悩まず、話し合いながら一緒に考えましょう。

専任の相談員がお受けします。秘密厳守します。

☎ 087-862-4152 ヨイコニ

受付 月曜日～土曜日 9:00～21:00

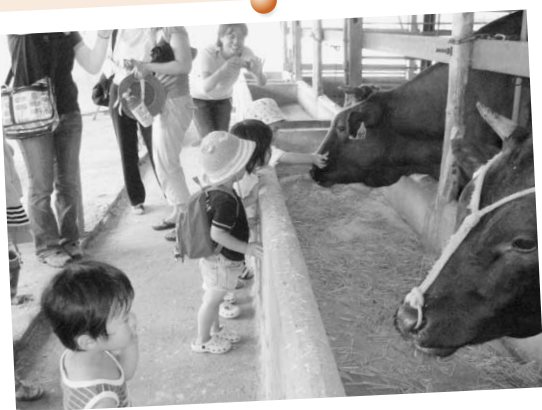
（日曜日・祝日・年末年始はお休みです）

▶ 問い合わせ

県子ども女性相談センター 087・862・8861

高瀬地域子育て支援センター（こぐまサークル） 地域とともにふれあう楽しいイベントがいっぱい！

民生委員児童委員・主任児童委員や地域のボランティアの皆さんに支えていただきながら、共に子育てを応援しています。いつでも気軽に参加してください。



センターから親子で政本勝男さんの牛舎まで歩いたよ！
牛がちよっぴりこわかったけど、ふれ合えてうれしかったなあ～。色々なメダカも見せてもらってありがとう。



宝光寺の大石英喜住職から説話を聞き、お寺の文化財に触れ、地域を知ることができたよ。おいしいおまんじゅうやお抹茶をいただき、うれしかったなあ！

参加者の声

地域の皆さんから子どもたちを大切にすることが伝わって感謝しています。

“おはなしの会だかせ”や“げんきのき”の皆さんから紙芝居や絵本の読み聞かせがあります。「今日のおはなしなあに？」と、とてもたのしみに聞いているよ～。

